

第1回区政モニターアンケート結果

令和5年5月実施

1. 調査目的

■「選挙について」

選挙管理委員会事務局

区民の皆さんの地方選挙に対する意識や関心のほか、選挙啓発活動の認知度を調べ、今後の選挙事務の参考とするため、区政モニターアンケートを実施いたしました。

■「成年後見制度の認知度について」

保健福祉政策部 生活福祉課

区では、令和 2 年度末に世田谷区成年後見制度利用促進基本計画（令和 3～5 年度）を策定し、認知症や知的障害などで判断能力が不十分となった場合に、成年後見制度を利用して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、本計画に基づき、制度の普及啓発に努めてまいりました。

今回の調査結果を、前回実施時の令和 3 年度の調査結果と比較することで、世田谷区成年後見制度利用促進基本計画（令和 3～5 年度）の施策評価・検証を行い、令和 6 年度からの（仮称）第 2 期世田谷区成年後見制度利用促進基本計画策定の検討資料とするため、区政モニターアンケートを実施いたしました。

■「世田谷の文化・芸術振興施策について」

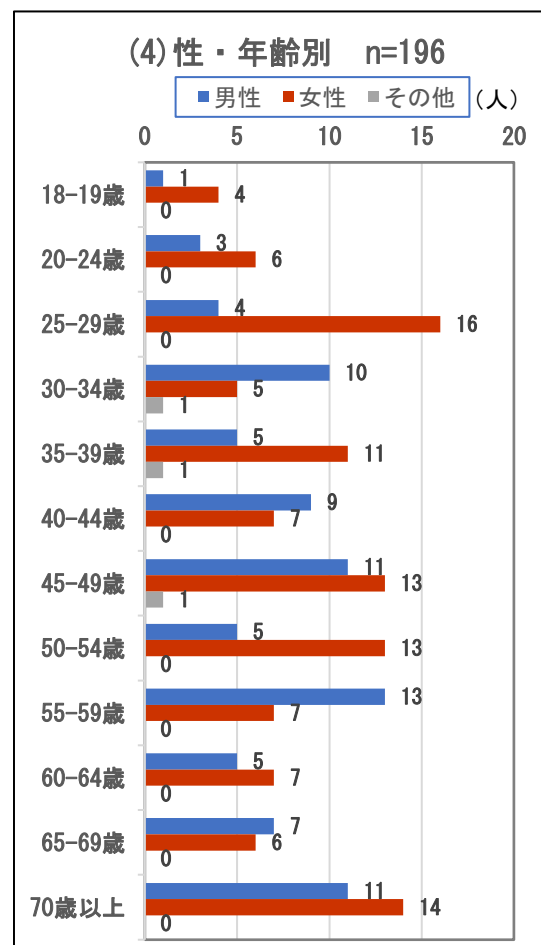
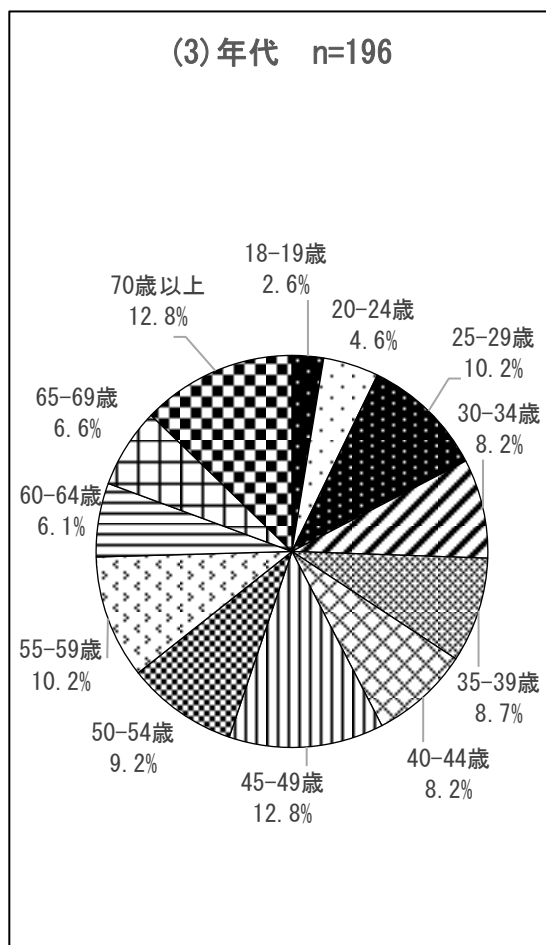
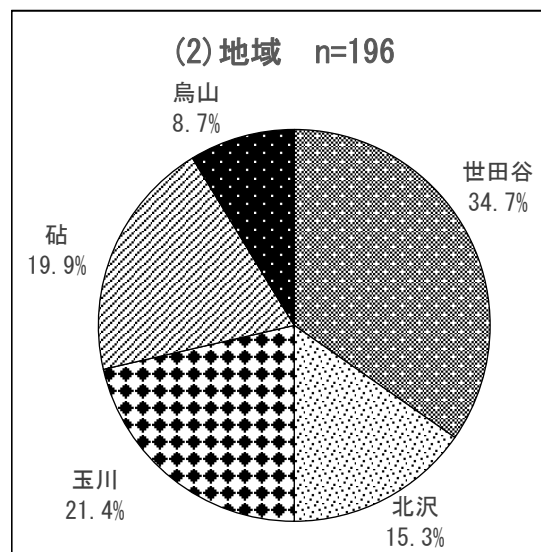
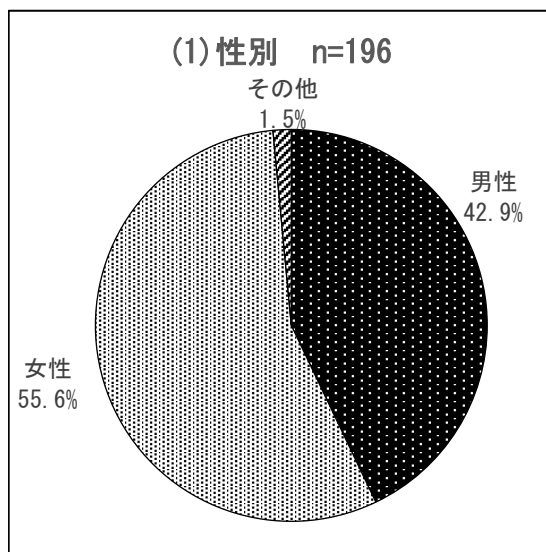
生活文化政策部 文化・国際課

区では、「世田谷区文化及び芸術の振興に関する条例」及び「世田谷区第 3 期文化・芸術振興計画（調整計画）」（令和 4～5 年度）に基づき、様々な文化・芸術振興施策に取り組んでいます。文化・芸術に関する意識や区の文化・芸術施策への意見を頂き、令和 6 年度を初年度とする次期計画策定に向けた検討資料とするため、区政モニターアンケートを実施いたしました。

2. 調査設計

- (1) 調査対象 第 20 期区政モニター
- (2) 対象数 200 人
- (3) 調査方法 郵送配布・郵送回収法又は E メールによる送信・インターネットによる回答
- (4) 調査期間 令和 5 年 5 月 24 日から 6 月 7 日
- (5) 有効回答数 196 人（回収率 98%）
数値の見方： 特に断りがない場合、すべての設問の n 値は 196 である。
※n 値とはサンプル数（アンケート回答件数）

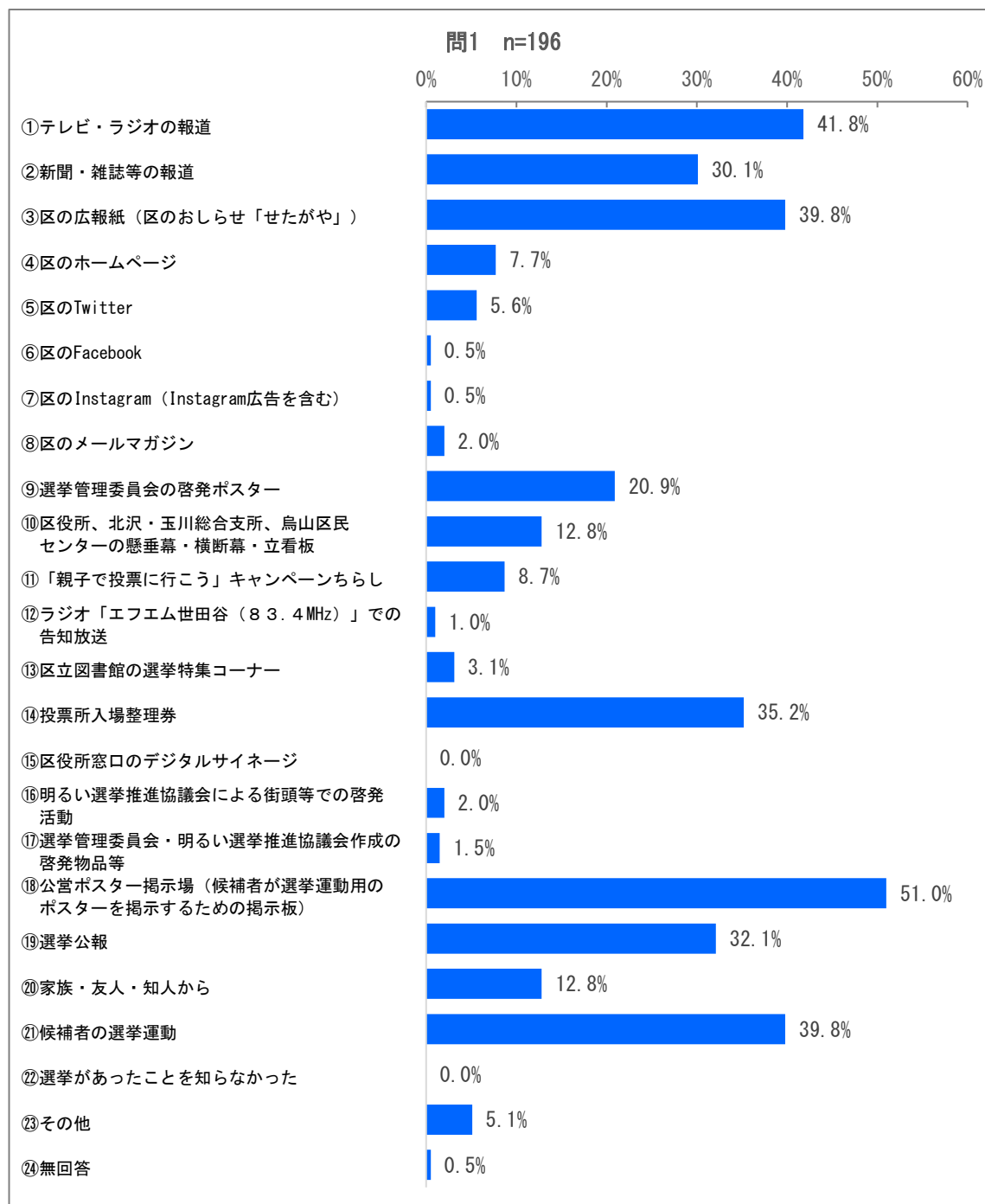
3. 標本構成



4. 質問と回答

■「選挙について」

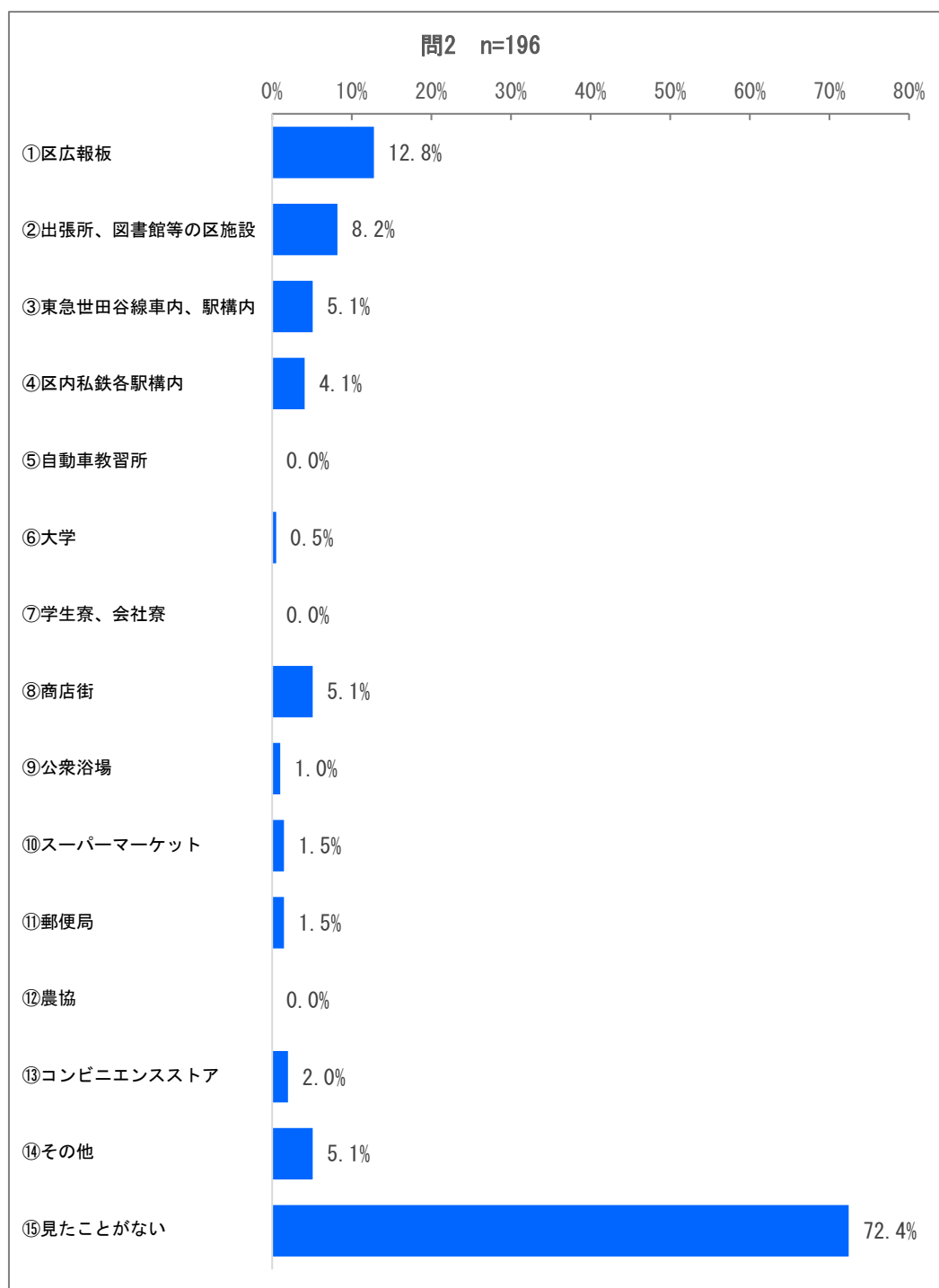
問1 令和5年4月23日（日）に世田谷区議会議員選挙・世田谷区長選挙（以下、今回の区議・区長選挙という。）が行われました。今回の区議・区長選挙が行われることを何で知りましたか。（〇はいくつでも）



<調査結果>

今回の区議・区長選挙が行われることを何で知ったかについて聞いたところ、「公営ポスター掲示場」(51.0%)がほぼ5割で最も高く、次いで、「テレビ・ラジオの報道」(41.8%)、「区の広報紙」(39.8%)、「候補者の選挙運動」(39.8%)などと続く。

問 2 区では若者の投票率向上のために、区内の多摩美術大学と連携した啓発事業を実施しました。その一つとして、同大学の学生がデザインした啓発ポスター（下図）を掲出し、投票日等の周知を行いました。次の中から、あなたが啓発ポスターを見た場所を選んでください。（〇はいくつでも）



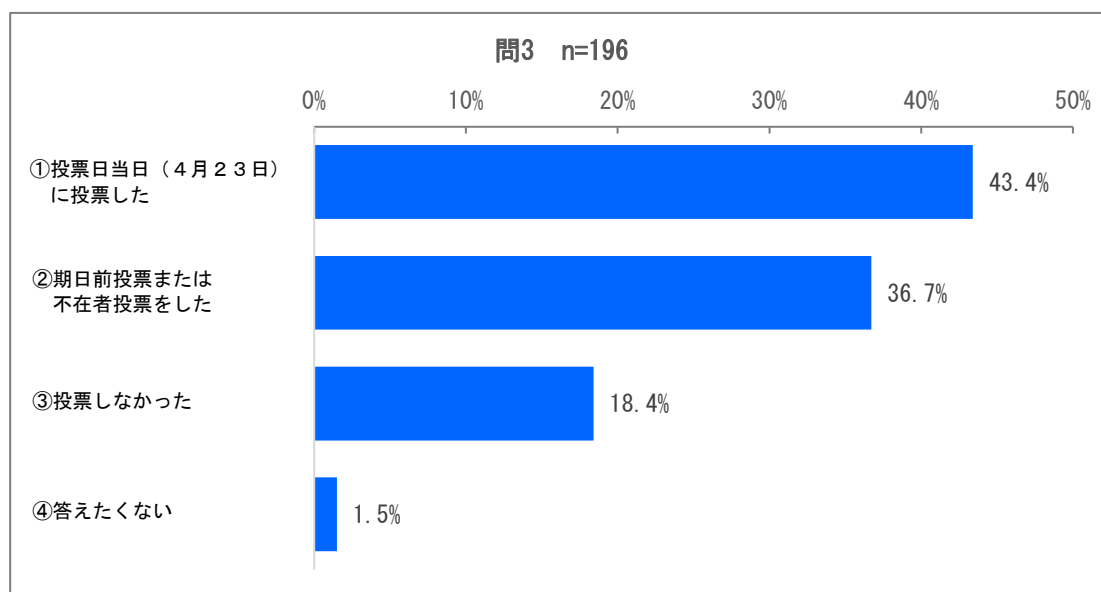
< 調査結果 >

若者の投票率向上のために、多摩美術大学の学生がデザインした啓発ポスターについて、ポスターを見た場所を聞いたところ、「見たことがない」(72.4%)が 7 割を超え最も高い。他方、見た場所としては、「区広報板」(12.8%)、「出張所、図書館等の区施設」(8.2%)などと続く。

▼啓発ポスター



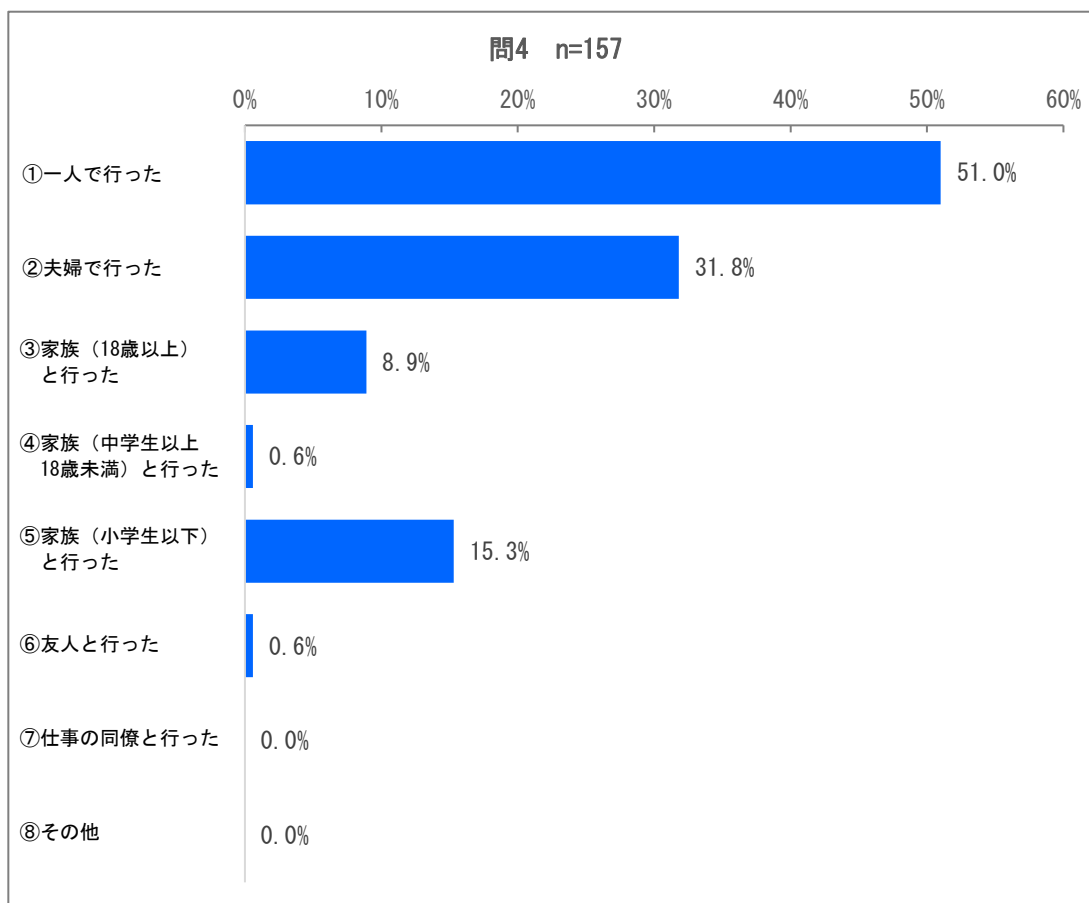
問3 今回の区議・区長選挙で投票しましたか。（○は1つ）



<調査結果>

今回の区議・区長選挙の投票状況について聞いたところ、「投票日当日に投票した」（43.4%）が4割を超え最も高く、次いで「期日前投票または不在者投票をした」（36.7%）、「投票しなかった」（18.4%）、「答えたくない」（1.5%）となっている。

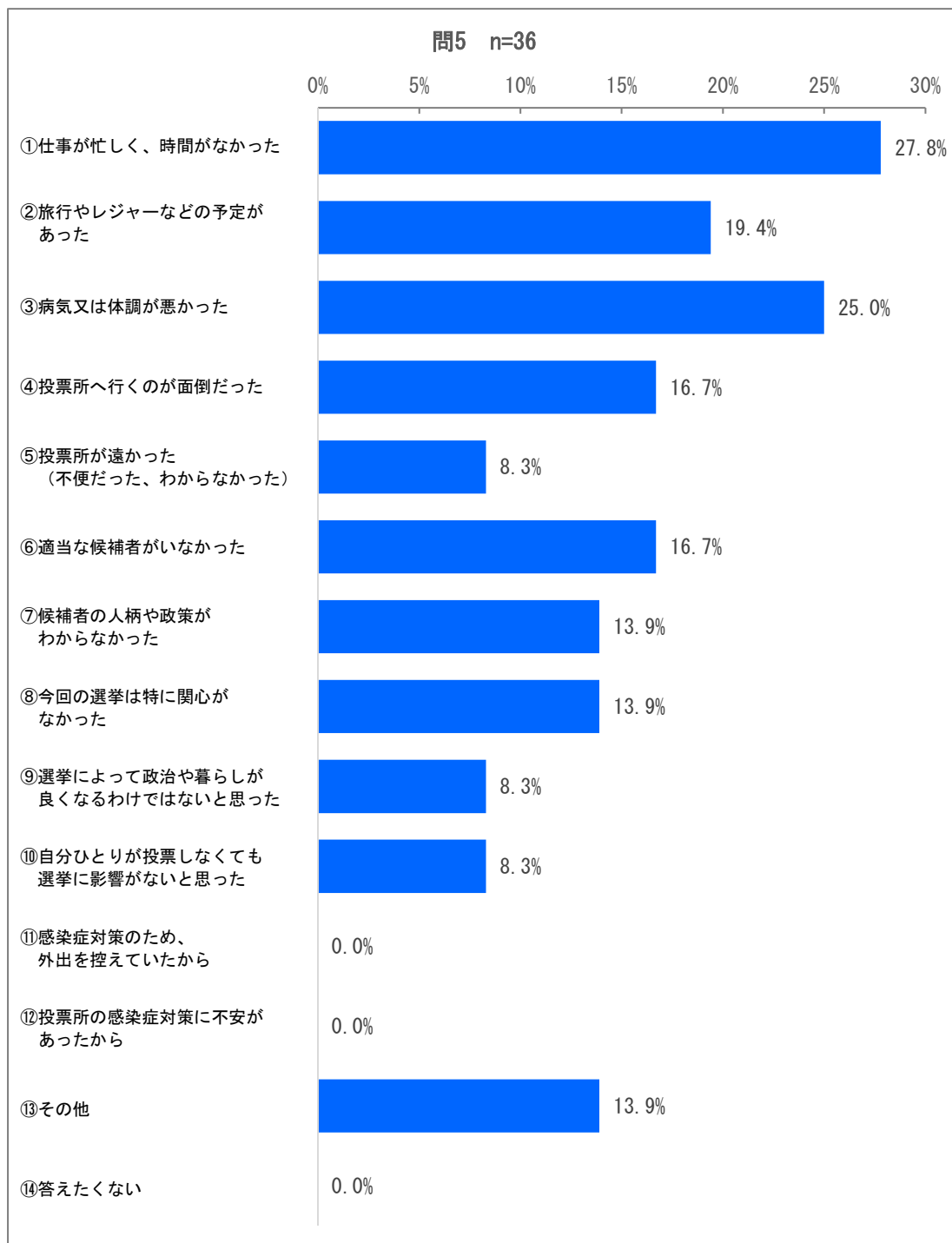
問 4 問 3 で「1. 投票日当日（4 月 23 日）に投票した」または「2. 期日前投票
または不在者投票をした」を選択した方にお聞きします。
どなたと投票に行きましたか。（〇はいくつでも）



<調査結果>

今回の区議・区長選挙に投票した方へ、どなたと投票に行ったか聞いたところ、「一人で行った」（51.0%）がほぼ5割で最も高く、次いで、「夫婦で行った」（31.8%）、「家族（小学生以下）と行った」（15.3%）などと続く。

問5 問3で「3. 投票しなかった」を選択した方にお聞きします。
投票しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

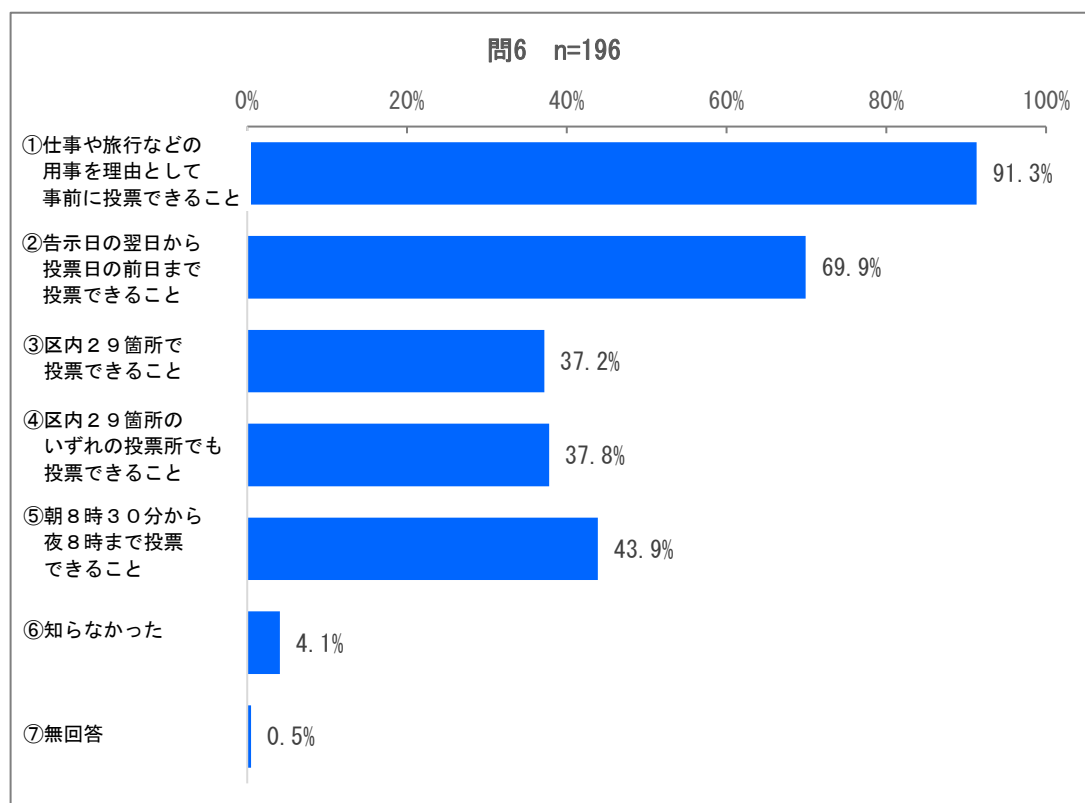


<調査結果>

今回の区議・区長選挙に投票しなかった方へ、その理由を聞いたところ、「仕事が忙しく、時間がなかった」(27.8%)が3割近くで最も高く、次いで、「病気又は体調が悪かった」(25.0%)、「旅行やレジャーなどの予定があった」(19.4%)などと続く。

問 6 今回の区議・区長選挙では、期日前投票を告示日翌日の 4 月 17 日（月）から投票日前日の 4 月 22 日（土）の間、区内 29 箇所（区役所及び各まちづくりセンター28 箇所）で、朝 8 時 30 分から夜 8 時まで投票することができました。

期日前投票について知っていたのはどれですか。（〇はいくつでも）



<調査結果>

期日前投票について知っていたことを聞いたところ「仕事や旅行などの用事を理由として事前に投票できること」(91.3%)が9割を超え最も高くなっている。次いで、「告示日の翌日から投票日の前日まで投票できること」(69.9%)、「朝 8 時 30 分から夜 8 時まで投票できること」(43.9%)などとなっている。

**問 7 20 歳代の若者の投票率は、他の年代に比べ低い傾向にあります。今後、若者の投票率を向上させるためにはどのようにしたらよいと思いますか。
(記述回答)**

投票方法について (全 57 件)

(主な意見)

- オンライン投票の実施。若い人は、わざわざ最寄りの投票所を探して、投票所入場整理券等の準備をして、投票所まで実際に出向く、という行動を起こすのが面倒なのだと思います。
- 投票所に行った後の手順が不安で行きづらかった。ネットや会場以外で投票出来ると行きやすそう。
- 携帯電話で投票出来るようにすること。

啓発活動について (全 49 件)

(主な意見)

- 若者の意見が区政に反映されていることの実感を持たせること。
- 参政権を得るためにどれだけたくさん闘ってきたことを知れば、選挙の 1 票を無駄にすることはできないと思います。
- 議員の仕事内容並びにその職責や必然性などを、もっと区民に対して丁寧に説明すべきと考えます。

インターネット・SNS の活用について (全 39 件)

(主な意見)

- YouTube や Twitter など、若者の利用が多い SNS を活用して広報活動を行うのが良いと思います。
- 候補者の名前の列挙だけだと顔と名前が一致しないので、政策やスローガンなども含めた情報をホームページに掲載する。
- 若者の集まる場所で選挙の啓発活動をインターネット配信する。

投票者への特典について (全 31 件)

(主な意見)

- 投票参加回数やボランティア参加回数に応じて、世田谷区施設使用料の軽減やせたがや Pay の還元率アップ等インセンティブ付与。
- 投票証明書の発行が気軽にできること、その証明書をクーポンのように利用できること。
- 選挙をすることによって得が得られるような街と協力した「選挙割」の認知度を上げ、選挙に行こうと思えるような待遇を行うことが大事になってくると考えます。

教育について (全 30 件)

(主な意見)

- 学校教育のカリキュラムにもっと自治体の政治や税金、取り組みに関することを盛り込んで、自分ごととして捉えてもらう。
- 模擬投票所をセットして実際に経験させ、慣れ親しんで貰うようにする。幼少期から投票の大切さやシンプルで時間がかからないことを実感させる。
- 選挙直前になって周知するのではなく、今から次の選挙に向けて選挙の重要性を伝えていく。小学校・中学校・高校の授業で選挙について伝えていく。

立地、場所について (全 27 件)

(主な意見)

- 区外の施設でも投票できるようにしたり、24 時間開設している投票所を設けたり、いつでもどこでも気軽に投票できる仕組みを整備する必要があると思う。
- 主要な駅やバス停等の近場でも実施し、時間的制約、場所の制約を緩和する。
- 若者はコンビニ利用が多いことから、コンビニでも投票できる仕組みを取り入れていただきたい。

候補者について (全 11 件)

(主な意見)

- 若者を対象とした政策を掲げる候補者の出現が必要。
- 候補者同士の討論や発言を聞く機会を提供してほしい。
- 魅力的な政治家がいない。

その他 (全 21 件)

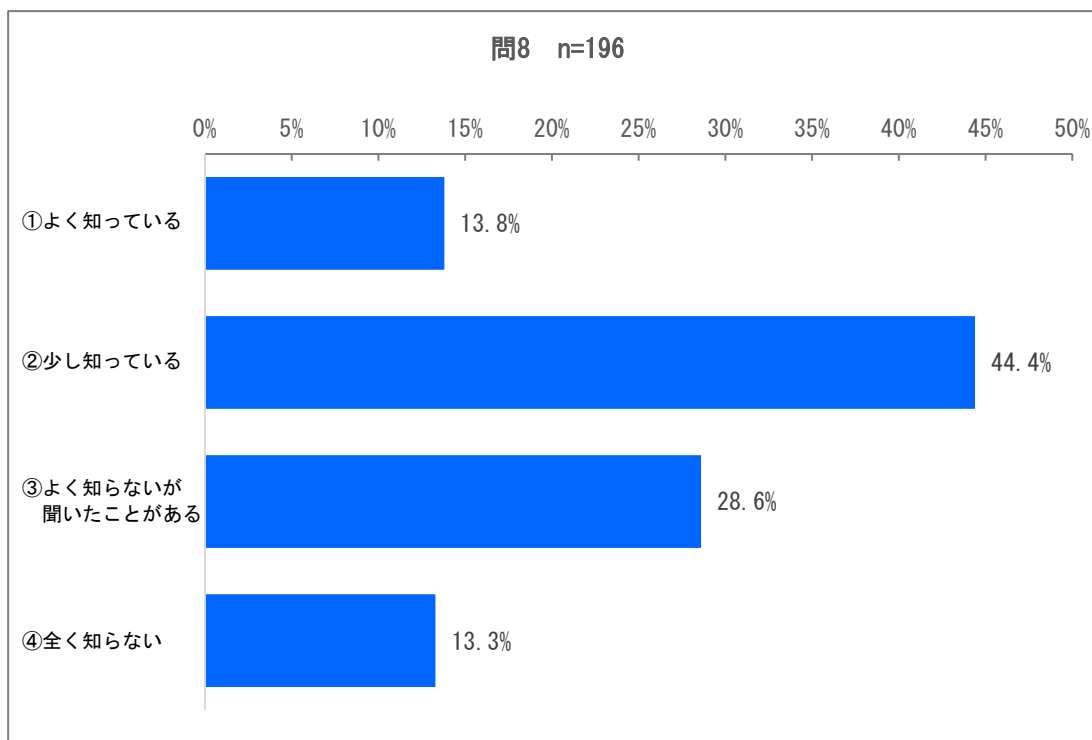
(主な意見)

- 選挙に行かない者への罰則規定の制定。
- 区政や行政が若い世代にとって身近に感じられるよう、選挙管理委員会などの手伝い等、有償、無償に関わらず、積極的に参加できる環境を作ること。
- 選挙入場券の封筒に日時を印刷して明確化する。若い人たちは忙しいので開封もしない。
- 年代人口による格差を埋める施策が必要。
- 親が子供を投票に連れて行くと、その子供が有権者の年齢となったときに投票に行く割合が高いということを聞きました。今の親世代に子供を投票に連れて行くことが若い世代の投票率を上げることにつながると思うので、投票所が親世代にとって子供を連れて行きやすいところになったら改善される気がします。

■ 「成年後見制度の認知度について」

問 8 成年後見制度とは、認知症や知的障害など判断能力が不十分となった場合に、本人の権利を守る援助者として、親族、または弁護士、司法書士、社会福祉士等の専門職の成年後見人を家庭裁判所が選び、法的に支援する制度のことです。

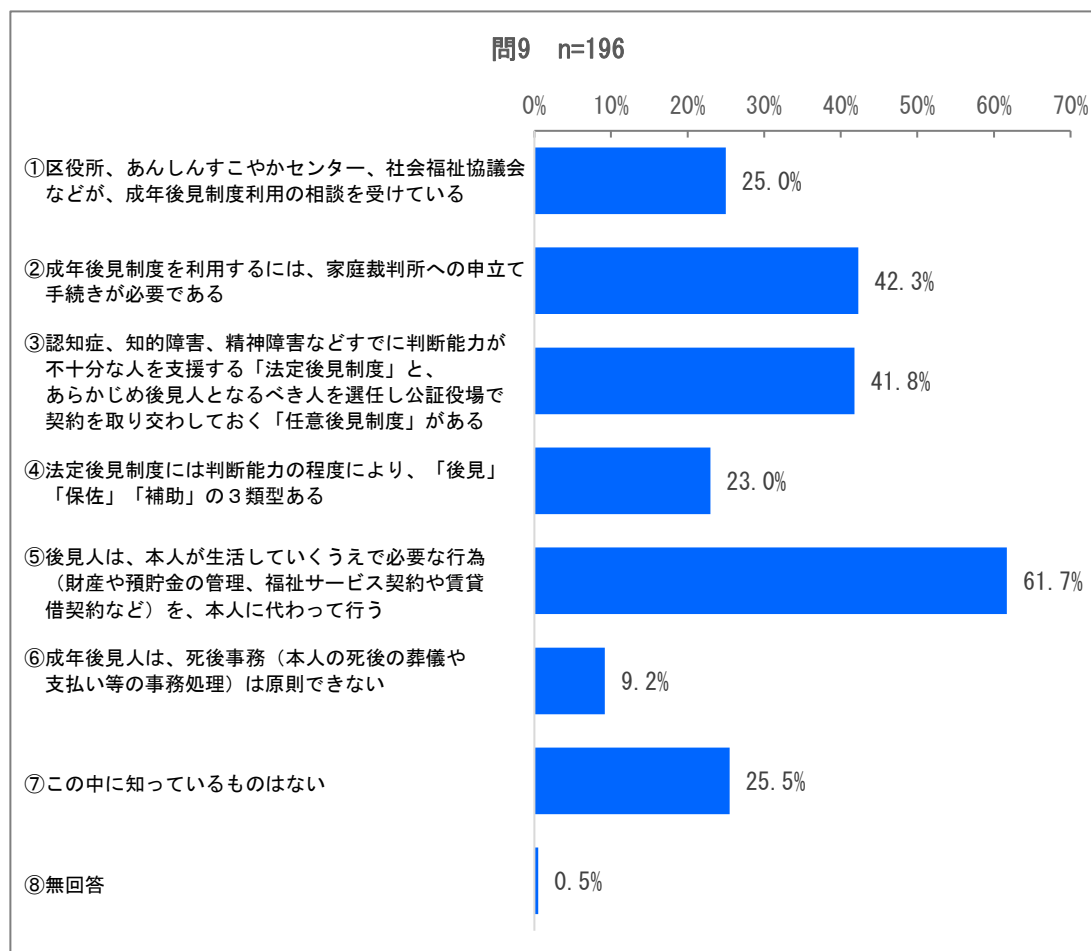
成年後見制度という制度を知っていますか。(○は1つ)



<調査結果>

成年後見制度の認知状況を聞いたところ、「少し知っている」(44.4%)が4割半ばで最も高い。以下、「よく知らないが聞いたことがある」(28.6%)、「よく知っている」(13.8%)、「全く知らない」(13.3%)と続く。

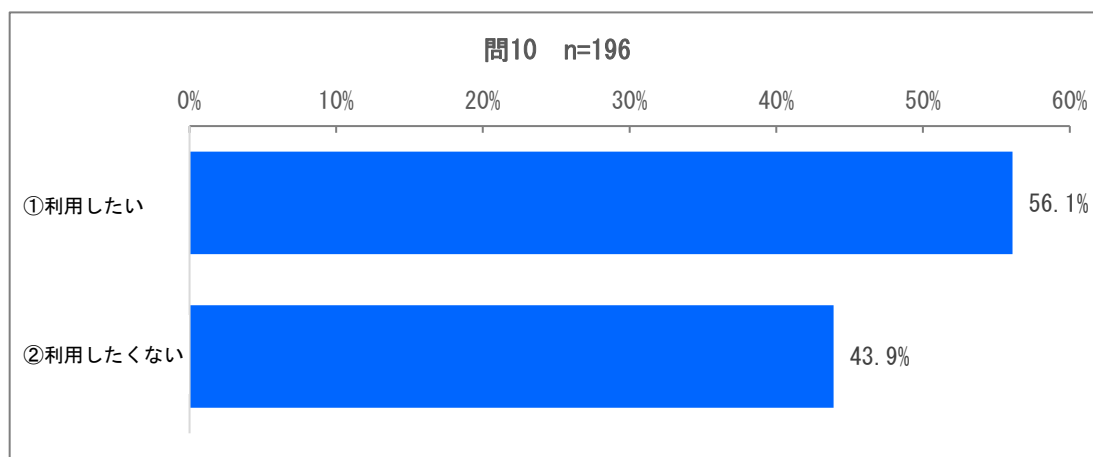
問9 成年後見制度の主な特徴で知っていることはありますか。
(〇はいくつでも)



<調査結果>

成年後見制度の主な特徴で知っていることを聞いたところ、「後見人は、本人が生活していくうえで必要な行為を、本人に代わって行う」(61.7%)が6割を超え最も高く、次いで、「成年後見制度を利用するには、家庭裁判所への申立て手続きが必要である」(42.3%)、「すでに判断能力が不十分な人を支援する「法定後見制度」と、本人が元気なうちに後見人を選任しておく「任意後見制度」がある」(41.8%)などと続く。

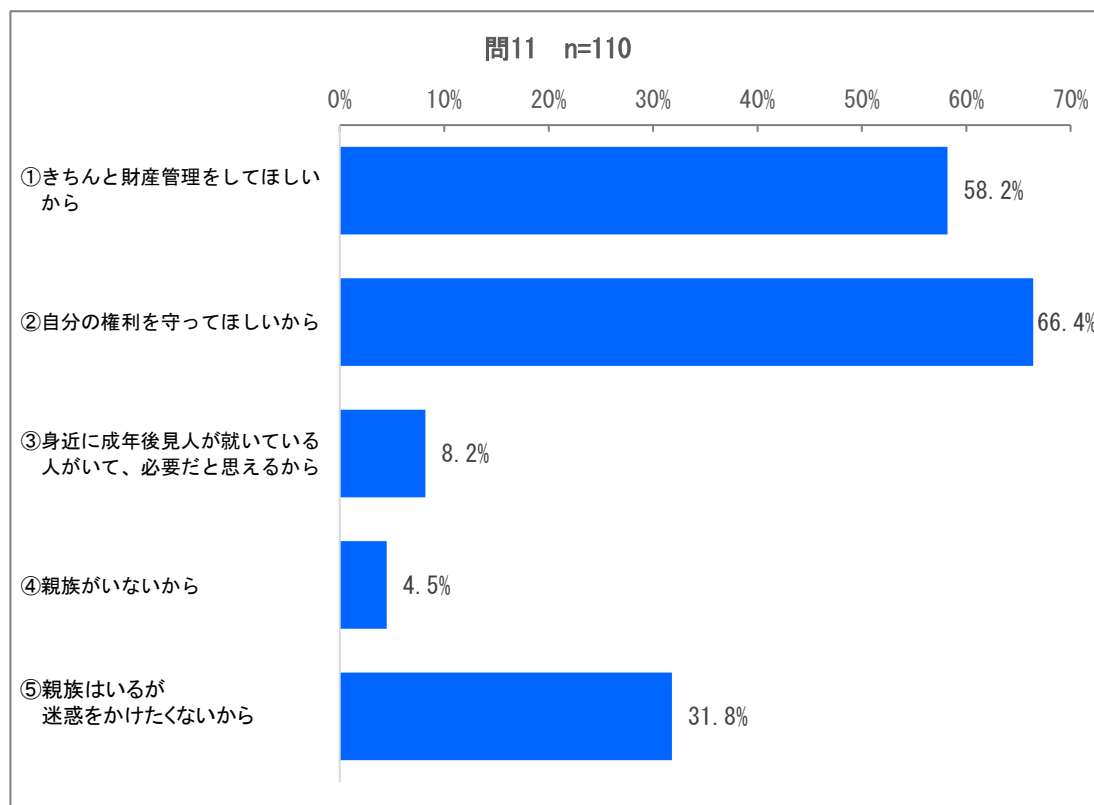
問 10 将来必要になったら、自分自身のために成年後見制度を利用したいと
思いますか。(〇は1つ)



<調査結果>

将来必要になったら、自分自身のために成年後見制度を利用したいと思うか聞いたところ、「利用したい」(56.1%)が5割半ばとなり、「利用したくない」(43.9%)を上回った。

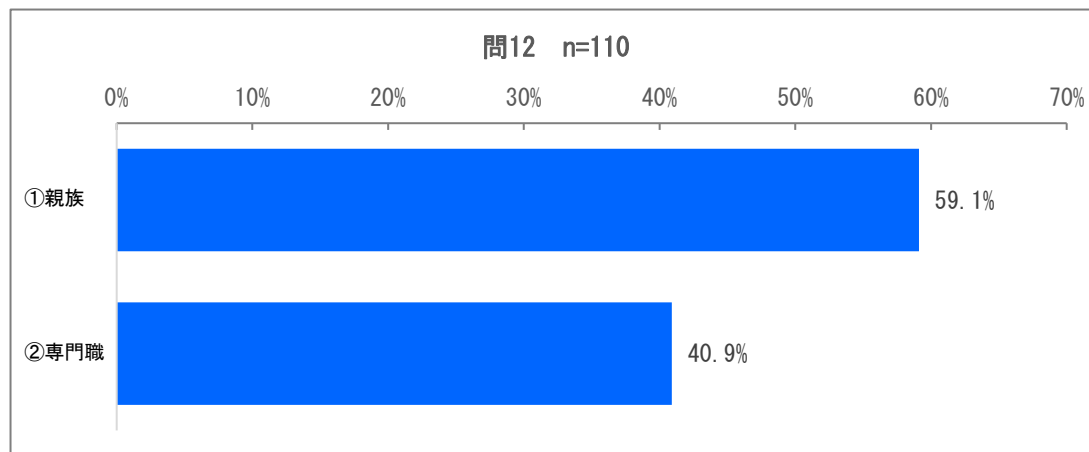
問 11 問 10 で「1. 利用したい」を選択した方にお聞きします。
 利用したい理由を次の中から選択してください。(〇はいくつでも)



<調査結果>

成年後見制度を利用したいと思う方にその理由を聞いたところ、「自分の権利を守ってほしいから」(66.4%)が6割半ばで最も高く、次いで、「きちんと財産管理をしてほしいから」(58.2%)、「親族はいるが迷惑をかけたくないから」(31.8%)などと続く。

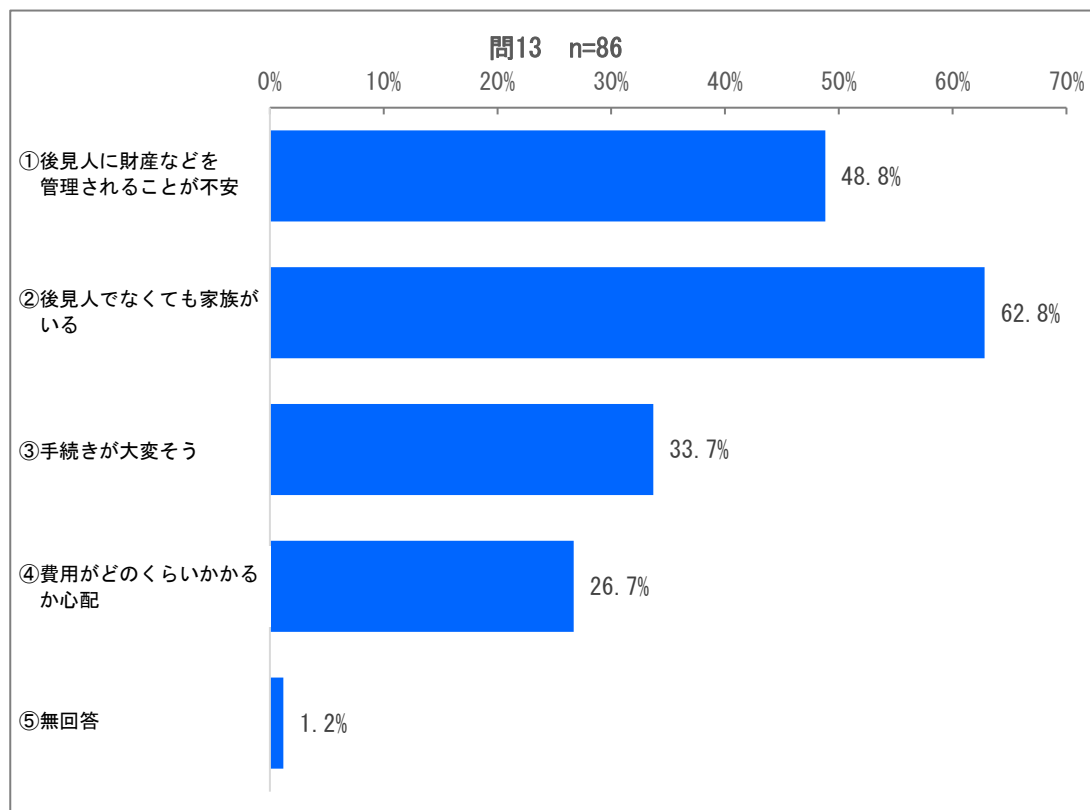
問 12 問 10 で「1. 利用したい」を選択した方にお聞きします。
誰に成年後見人になってほしいと思いますか。(〇は1つ)



<調査結果>

成年後見制度を利用したいと思う方に誰に成年後見人になってほしいかを聞いたところ、「親族」(59.1%)がほぼ6割となり、「専門職」(40.9%)を上回った。

問 13 問 10 で「2. 利用したくない」を選択した方にお聞きします。
利用したくない理由を次の中から選択してください。(〇はいくつでも)



<調査結果>

成年後見制度を利用したくないと思う方にその理由を聞いたところ、「後見人でなくても家族がいる」(62.8%)が6割を超え最も高く、次いで、「後見人に財産などを管理されることが不安」(48.8%)、「手続きが大変そう」(33.7%)などと続く。

**問 14 成年後見制度をより利用してもらうためには何が必要だと思いますか。
ご自由にご記入ください。(記述回答)**

周知について (全 126 件)

(主な意見)

- 制度説明を分かりやすく周知する。(他 21 件)
- 制度のメリット・デメリットを案内する。(他 18 件)
- 中学生に対し成年後見制度の教育をする。
- 一人世帯に対するアピール。具体的には団地に住む高齢者と予備軍の年齢層に集まってもらい詳しい説明をしてもらうなど。

制度について (全 22 件)

(主な意見)

- 親族でない方に依頼しても安心感を得られることが必要だと思います。
(第三者管理は親族に比べて心配な面がある)
- 親族でない成年後見人に依頼するときに、安全性(騙されないこと)を担保や補償する制度があると利用に向けてハードルが下がりそう。
- 親族を後見人にすると、かなりの負担が後見人にかかると聞いている(知識不足かもしれないが)。
- 制度を悪用した場合の罰則を厳しくする。
- 十分なプライバシーへの配慮と人権の尊重。

手続きについて (全 19 件)

(主な意見)

- 制度を使いたいと思った時に、幾つもの書類を取り寄せたり、何ヶ所も役所を回ったり、面倒な印象がある。制度を利用したいと思った時に、手続きが煩雑で無い事が1番の利用促進になるのではないのでしょうか。
- 手続きが簡易でインターネット上でも完結できること。(紙でのやりとりや往訪がとても負担になるため。)
- 手続きをもっと簡単にする。裁判所の申し立ては、一般人にとってハード

ルが高い。

- 確定申告、年金、医療保険の申請などの機会に、成年後見制度利用の有無確認の手続きを追加。成年後見制度についてのみ促されても、不安に思ったり、理解できなかったり、警戒してしまうかもしれません。

| | |-------------| | 利用者の意見を聞きたい | |-------------| (全 12 件)

(主な意見)

- 制度を利用している本人や親族などからの情報を得る場所があると良い。
- 既に利用されている人やその周りにいる方等の実際の声が聞けると、もっと身近に感じられるのかなと思う。
- 一般的な広報としてではなく、身近な利用者の生の声こそ、信頼に足りると思うので、そういう場を創出していくのが、共感を呼び、利用者を増やすには良いことだと思う。

| | |-----| | その他 | |-----| (全 20 件)

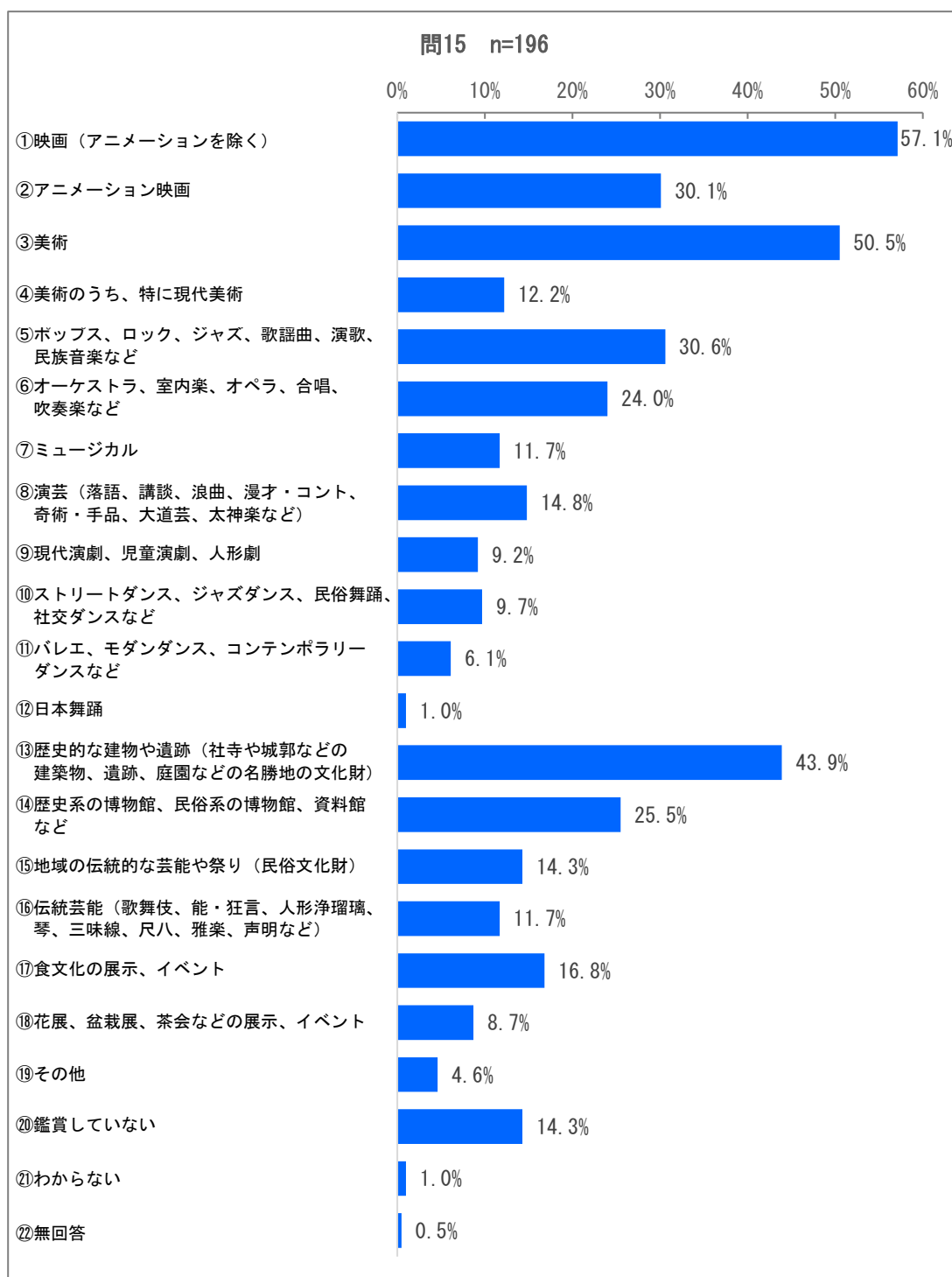
(主な意見)

- 金融機関などの窓口との連携。
- 公教育だけではなく、就業後に各種公共サービスの認知教育(研修など)を義務化すること
- 成年後見制度を利用する為には、繋がり場を広く持ち、高齢者が孤独にならない状態が必要であると考えます。

| | |------| | 特になし | |------| (全 4 件)

■「世田谷の文化・芸術振興施策について」

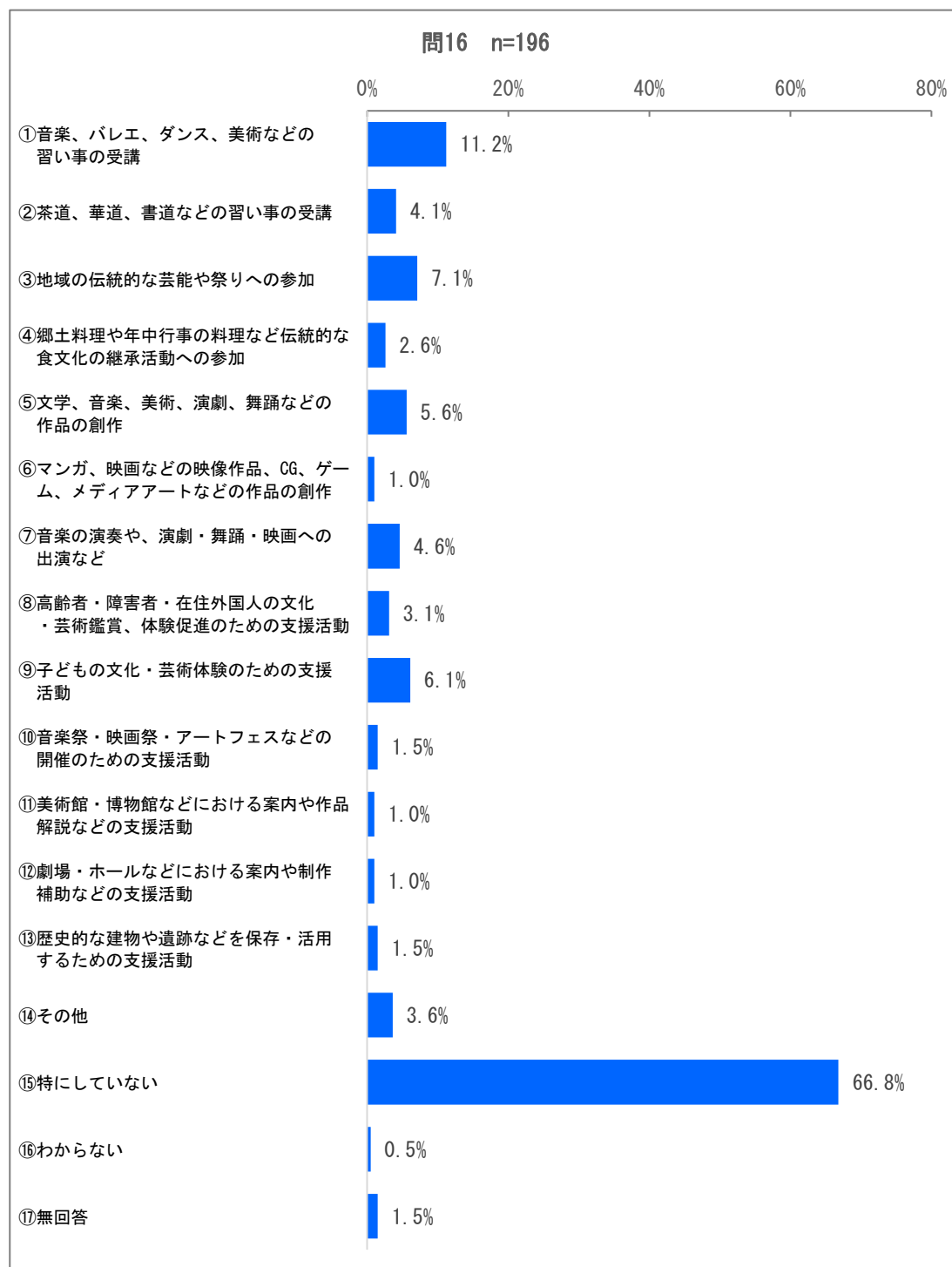
問 15 この1年間に、コンサートや美術展、映画、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバル等の文化・芸術イベントを鑑賞（テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を含む）しましたか。（○はいくつでも）



<調査結果>

この1年間に、文化・芸術イベントを鑑賞（視聴を含む）したかを聞いたところ、「映画（アニメーションを除く）」（57.1%）が6割近くで最も高く、次いで、「美術」（50.5%）、「歴史的な建物や遺跡」（43.9%）などと続く。

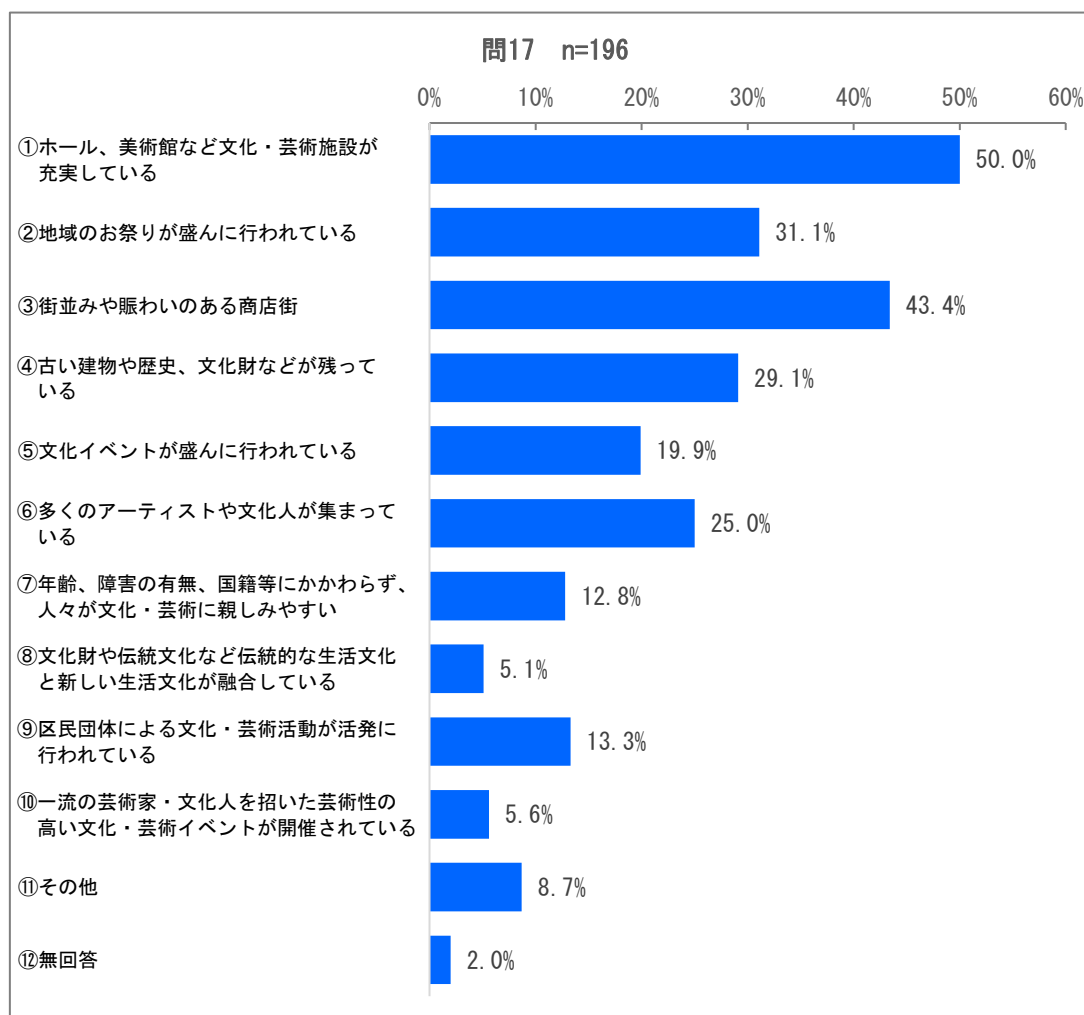
問 16 この1年間に、鑑賞ではなく、自分で文化・芸術活動を実践（創作や出演、習い事、祭りや体験活動への参加など）したり、ボランティアとして活動を支援したりしましたか。（〇はいくつでも）



<調査結果>

この1年間に自分で文化・芸術活動を実践したり、ボランティアとして活動を支援したりしたかを聞いたところ、「特にしていない」(66.8%)が7割近くで最も高い。活動の実践や活動を支援した中では、「音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講」(11.2%)が1割を超え最も高く、次いで、「地域の伝統的な芸能や祭りへの参加」(7.1%)、「子どもの文化・芸術体験のための支援活動」(6.1%)などど続く。

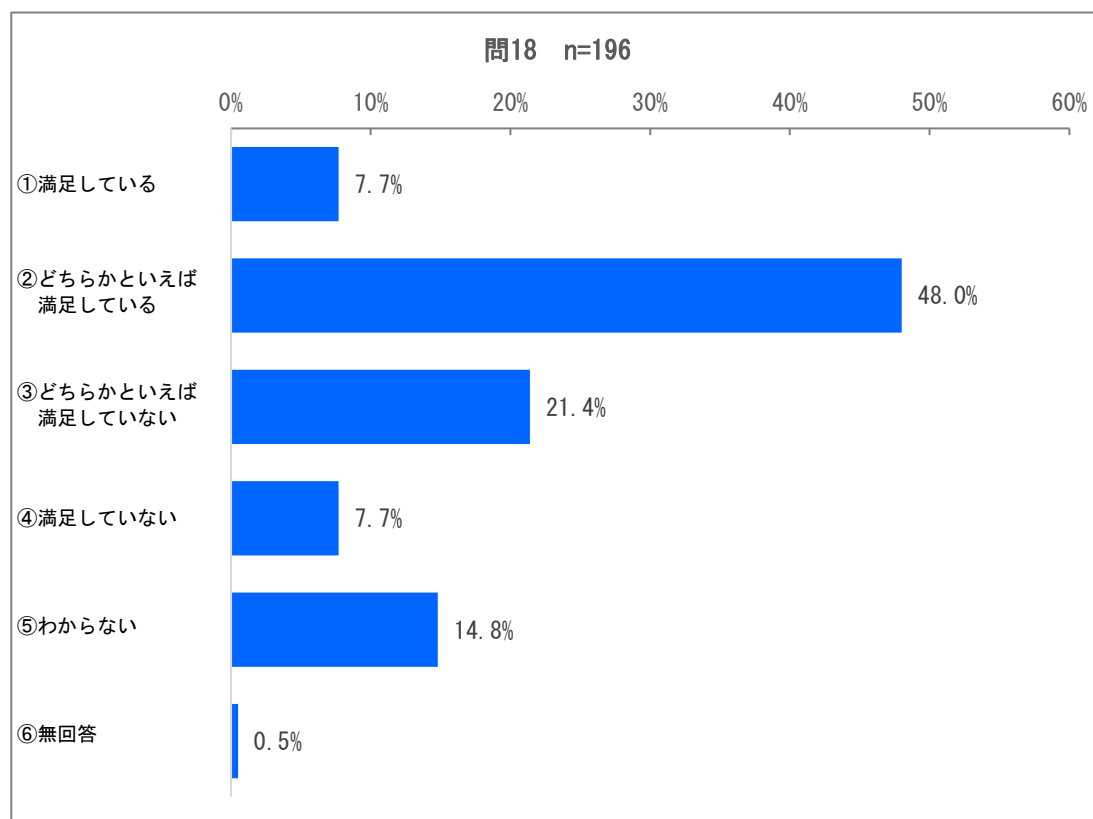
問 17 区内の文化環境のイメージで、あてはまるものを選んでください。
(〇はいくつでも)



< 調査結果 >

区内の文化環境のイメージを聞いたところ、「ホール、美術館など文化・芸術施設が充実している」(50.0%)が5割と最も高く、次いで、「街並みや賑わいのある商店街」(43.4%)、「地域のお祭りが盛んに行われている」(31.1%)などと続く。

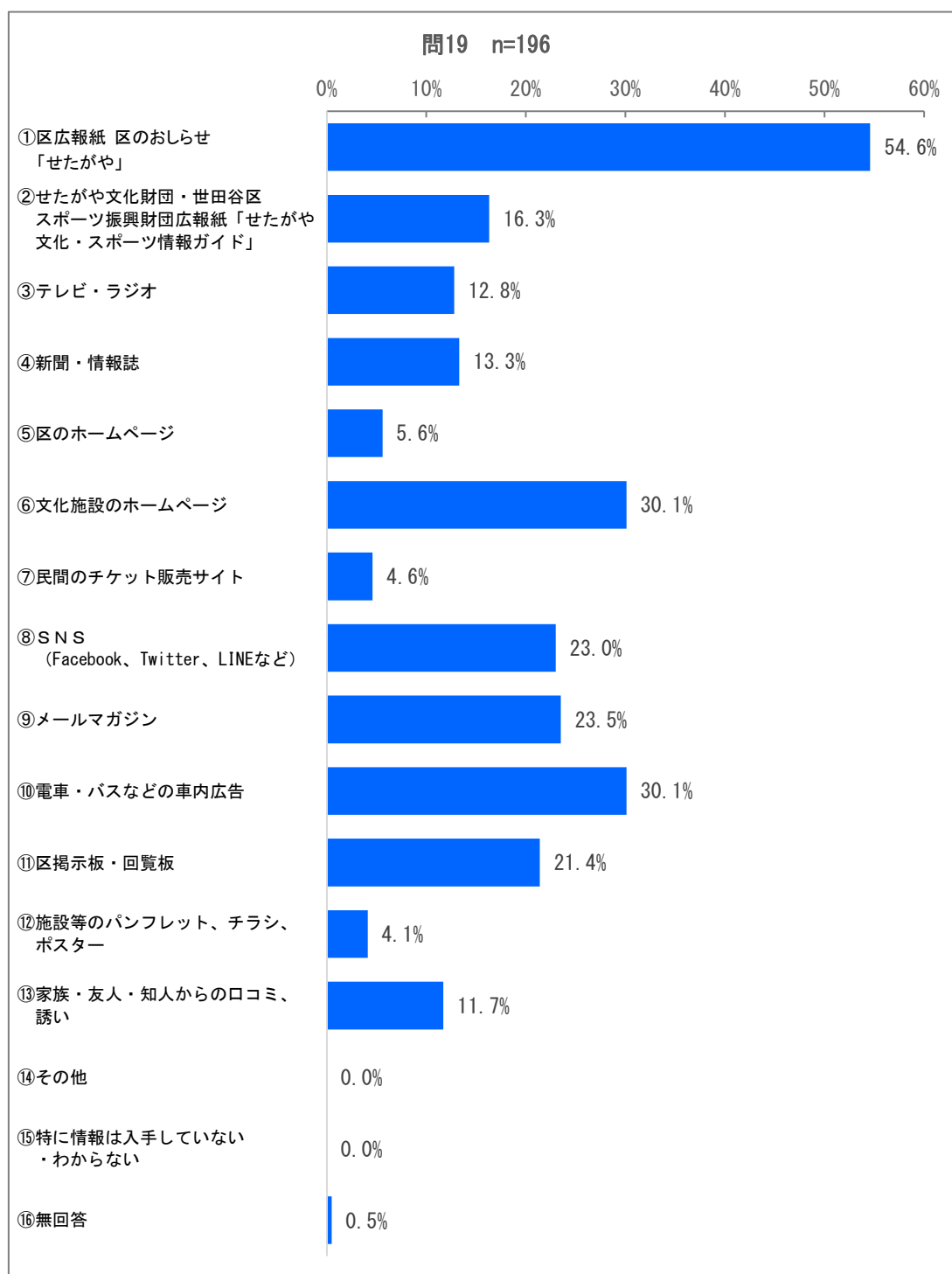
問 18 区内の文化環境に満足していますか。(○は1つ)



<調査結果>

区内の文化環境は、「満足している」(7.7%)と「どちらかといえば満足している」(48.0%)の合計で55.7%と5割半ばとなっている。

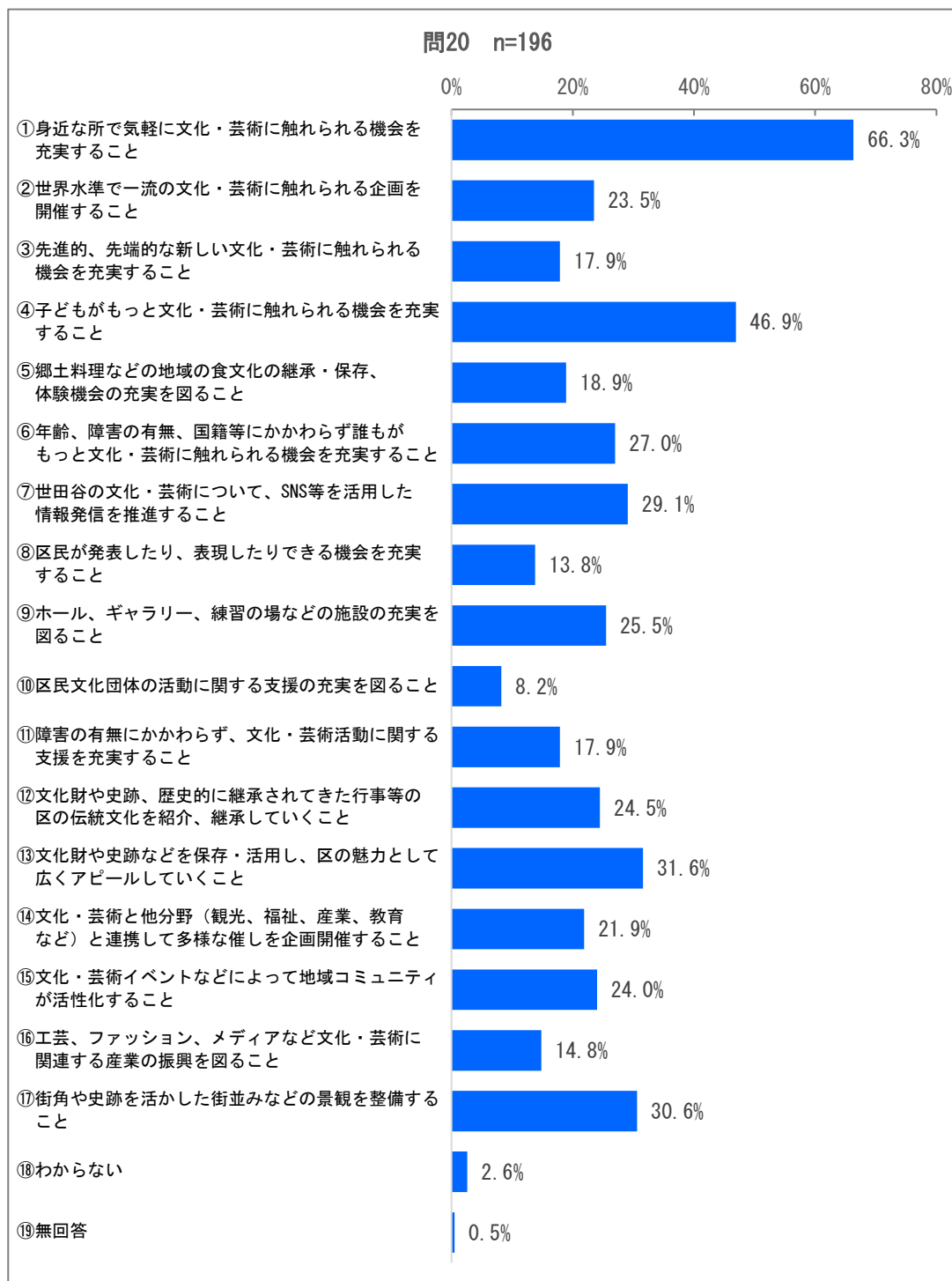
問 19 文化・芸術に関する情報をどのような手段で手に入れていますか。
(〇はいくつでも)



<調査結果>

文化・芸術に関する情報をどのような手段で手に入れているかを聞いたところ、「区広報紙 区のおしらせ「せたがや」」(54.6%)が5割半ばで最も高く、次いで、「文化施設のホームページ」(30.1%)、「電車・バスなどの車内広告」(30.1%)が3割で同率と続く。

問 20 区の文化施策として、どのような内容を重視することが良いと思いますか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

区の文化施策として、どのような内容を重視することが良いと思うかを聞いたところ、「身近な所で気軽に文化・芸術に触れられる機会を充実すること」(66.3%)が6割半ばで最も高く、次いで「子どもがもっと文化・芸術に触れられる機会を充実すること」(46.9%)、「文化財や史跡などを保存・活用し、区の魅力として広くアピールしていくこと」(31.6%)などと続く。

問 21 世田谷区の文化・芸術に対する取り組みについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。(記述回答)

イベントの内容について (全 44 件)

(主な意見)

- 世田谷区は広い公園が複数ありますが、その公園を活かした文化・芸術イベントがあっても良いと思います (公園での芸術鑑賞会や工作ワークショップ等)。
- 区内の大学生など若い人たちにアイデアを出してもらい、若年層も楽しめるようなイベントや活用方策を練り、実施してみたらよいのではと思います。
- 夏祭りが大好きなので、お祭りやイベントをたくさん開催してほしい。夏だけでなく、梅雨の時期や、祭りの季節でない時も、広場などで、お祭りやイベントがあると嬉しい。露店が出るだけでも良いので、定期的を開催してほしい。

施設・場所について (全 26 件)

(主な意見)

- ふらっと立ち寄って文化芸術を鑑賞できる施設があると良い。
- 世田谷区内でも地域に差があると感じる。世田谷区は広いので、多くの場所で提供してもらいたい
- 世田谷パブリックシアターをもっと活用すべき。

広報について (全 23 件)

(主な意見)

- 芸術関係の展示の情報などは区広報板でしか情報を得られない。さまざまな SNS で発信してほしい。
- もう少しワンストップで情報が集中的に得られる場所、あるいはネットのサイトが必要ではないでしょうか。何となくですが、豊かな情報があるものの、散在しているため、読み手 (区民) からすると取捨選択、可否選択がし辛いようにも思います。

子ども向けイベントの充実について（全 18 件）

（主な意見）

- 子どもたちには自然と触れ合えるイベント、公園探検や溪谷探検、キャンプ体験などあれば参加したいと思っています。
- 未就学児から参加できる音楽・アートのワークショップなどが盛んに行われると嬉しいです。
- 子どもが手軽に触れ合える機会があると嬉しいです。（高齢者だけでなく、学生も巻き込んだ運営だと垣根がより低くなり、また双方にポジティブな影響があるかと思います）

優遇・割引等について（全 14 件）

（主な意見）

- 区民割を設けてくれるとみんな行きやすくなると思う。文化・芸術に触れたくても、入場料でためらうことが多いので。
- 子どもがより気軽に芸術に触れる機会を増やしてほしい。子供向けのイベントや子供を対象とした大幅な料金割引・親子セットの大幅な料金割引。
- クラシックコンサートや、英会話教室等、世田谷区で開催して欲しい。それか、民間開催のものを、安く利用出来るように、クーポンを出す等して、芸術、文化に触れる機会を提供して欲しい。現状、スポーツ等の区主催の教室も、平日昼間が多く、働いている人は恩恵を受けづらい。

支援・助成について（全 8 件）

（主な意見）

- 世田谷区は、自分の芸能芸術を発表したい方が多いと思うので、区として施設の充実、イベントの主催、また、補助金などで活動を支える事を続けていただきたい。
- 貴重な建物の保存に力を入れていることは素晴らしい。文化、芸術にきちんと予算を充てることが、住み良い街を作る基礎になっていくと思う。

その他（全 16 件）

（主な意見）

- 十分取り組まれていると思います。
- 他区と隣接する地域の場合、世田谷区が隣接区と共同でイベント開催するなども良いのではないのでしょうか。
- 下北沢に限らず、その土地らしさを感じられる文化を大切にしてほしい。
- 敷居が高いような気がする。
- イベント等で区内に居住の文化人や芸術家の活躍の場が増えるとよい。

特になし（全 7 件）